

# この山に登ろう①

おそら かんざん  
**恐羅漢山** 1346m

広島県山県郡安芸太田町

広島県山岳連盟 事務局長 **松島 宏**



台所原から恐羅漢山を望む

広島県の最高峰である恐羅漢山は広島の人々の故郷の山として親しまれてきました。私も子供の頃からここでスキーを楽しみ、学生時代は麓の牛小屋高原の山小屋で青春の時を過ごしました。昔は広島からだと三段峠を越えるか、内黒峠を歩いて越えて二軒小屋に入るため、頂上に到達するのに2日かかっていました。戦後すぐ、スキー場が開発され内黒峠に林道ができ、最近では深入山の麓から餅ノ木経由のトンネルが完成し日帰りが可能となりました。広島から2時間で来ることができスキー場の標高もほぼ1000mですから頂

上まで1時間足らずで到達できます。標高差約350mです。

この山塊は広島県の最も奥深い地域です。旧羅漢山と双耳峰を形成し北東から南西に伸びる断層線に沿って尾根、谷が延びています。東に砥石郷山、西は五里山への長い稜線が続いています。高岳から奥匹見、天杉山、台所原と分水嶺の尾根が恐羅漢山にぶつかります。水越峠で内黒山、十方山山塊へと繋がります。昨年2月にはスキー場から旧羅漢山に向かったボーダー（スノーボードをする人）7人が遭難し廃校跡に救われて生還。全



青い斜線は磁北線。磁北（磁石の指す北）と真北（実際の北）は少し（ここでは西に7°）ずれているため、山行では磁北線を書き込んだ地図を使うことが多い。磁北線と磁北線の間は約500m。





台所原にて

国的にも名を馳せるようになりました。冬場は一旦吹雪になれば稜線はだだっぴろく、山に慣れていても方向を失います。それだけ奥深く、素晴らしい自然の残っている場所でもあります。

私が大学1年生の春、廿日市市吉和から細見谷を廻行し、水越峠、旧羅漢山、恐羅漢山三段峡と二泊三日の山旅をしました。この経験が登山に深入りする結果となりました。

さて登山コースですが、一番簡単なのがスキー場の中腹にある牛小屋高原エコロジーキャンプ場まで車で上がり、民営のスキー場のゲレンデに沿ってある登山道を往復するルートです。所要時間2～3時間。一番のお勧めはキャンプ場管理棟と広島山岳会の山小屋の間の道を北に向かいナツヤケノキビレ（夏焼峠）に（30分）、峠から南の恐羅漢山に向かう尾根を登ります。1131mのピークを超えた鞍部に分岐があり標識がありますのでそこから右に（西）に標高差約100m弱下ります。すると台所原に向かう古く荒れた林道にぶつかりますので、辿ると約1時間で台所原（標高1000m）です。ここは太田川、三段峡の源流域で広島最深部です。ツキノワグマが生息する地域です。恐羅漢山の東側はスキー場ですが西側は原始のブナ林が残っています。この手付かずの極相の森を満喫して恐羅漢山頂上に立ちましょう（1時間）。頂上の10m手前でスキー場からの登山道にぶつかります。下山ルートは北に向かって下り、5分で分岐がありますので右（東）に下りればスキー場、真直ぐ下ればナツヤケノキビレです（スキー場へは30～40分）。早く下山したい人はスキー

場へ、自然を楽しみたい人はナツヤケへ、夏焼峠から砥石郷山は2時間で往復できますので歩き足りない人はどうぞ。夏焼峠からキャンプ場までは20分。このルートが恐羅漢山を楽しむ一番お勧めコースです。次は健脚登山者のためのコースを紹介します。

- ① 廿日市市立岩登山口から十方山、水越峠、旧羅漢山、恐羅漢山（8時間）
- ② 聖湖、高岳、野田の百本松、天杉山、台所原、恐羅漢山（8時間）
- ③ 柴木、内黒山、内黒峠、丸子頭、十方山、旧羅漢山、恐羅漢山、砥石郷山、田代、三段峡、柴木（12時間）

①と②は車の移動さえできれば超お勧めのロングコースです。どの季節に行っても最高の満足を得ることができます。③は究極のコースで広島県山岳連盟がヒマラヤの高峰を目指す時に隊員を鍛えるルートです。約20kgを背負い、朝6時に三段峡駅を出発し、日が暮れる前に帰ってきます。7000mのアタックキャンプから8000mの頂上を往復するのはこんな感じかなという設定です。我こそはと思う方は挑戦してみてください。さあ広島の最高峰にチャレンジしましょう。



恐羅漢山頂上